

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール グループホーム菜の花いしやま館 2階 R4.3.29 札幌市提出

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンスでは、理念に即した話し合いを行い、職員が共通して目指すべき指標とし、実践に取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルス流行の為、地域との活動が大きく制限されてしまったため、交流は出来ていない。	・コロナの影響により地域交流は難しい。制限がある中でもよく対応されている事が伺える。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルス流行の為、会議は書面での開催となっている。地域包括支援センター職員、地域の方々、ご家族へ活動内容を報告し、意見を頂きながらサービス向上に努めている	・毎回資料を送付して頂いている。会議での意見が反映されているのも、資料から伺える。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍でもある為、より密な連携を行っている。PCR検査の定期実施等、市との連携により迅速に開始することが出来ている。	・会議報告から対応している状況が見受けられる。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3ヶ月に1回の身体拘束等適正化委員会やユニット会議の年2回以上の研修を行い取り組んでいる。また身体拘束適正化指針を遵守し支援が出来るように努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・運営推進会議にて、指針の説明を受け、取り組みに素晴らしさを感じているというコメントもあり、十分に出来ていると評価する。 ・またご家族への説明、同意等しっかり行っている事が伺える。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3ヶ月に1回の虐待防止委員会の実施と共にユニット会議で研修を行っている。言葉がけの注意喚起と意識付けを特に意識し、日常的に行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・項目6同様、3ヶ月に1回委員会の開催、内部研修を行い、入居者様への言葉遣いにも配慮されており十分に出来ている。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンスにて研修を行い、学ぶ機会を設けている。当ユニットにおいて成年後見制度を利用している入居者様はいない。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本社職員同席の基、十分な説明を行い、理解と納得を得られるよう努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な近況報告を行い、その際意見や要望なども頂いている。入居者様も同様、日常的に意見や要望を話せるよう声掛けに努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・近況報告を細かく行うことで、ご家族も安心していることが伺え、運営推進会議での意見集約、反映を行うことが充分に出来ている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者はユニット会議や面談などから意見を聞く機会を設けている。また管理者は法人全体の管理者会議で意見、提案をする機会があり運営へ反映させている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人は処遇改善や雇用形態の見直し等、整備を行っている。またキャリアパス制度の構築導入、構築を急いでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ご家族からは詳細把握は難しいかも知れないが、法人として職場環境、条件の整備に努めている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人は職員の実績、力量、努力などに応じ、研修や資格取得に向けた予算を組み進めているが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い外部研修は行えていない。ユニット会議内の各種研修を実施している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナ禍において外部研修の参加が行えていない状況にあるが、法人として各種研修、資格取得支援に努め対応されている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、外部機関及び同業者との関りは殆どなかった。運営推進会議での書面のやり取りを継続することに留まっている。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントにてご本人の出来る事、支援することで出来る事などを抽出し、ご本人の希望に沿った生活が出来よう関係構築を行っている。			
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為外出などは行えていないが、手紙のやり取りや、電話対応等で関係性の継続を支援している。12/8より面会制限の緩和対応実施。	・コロナ禍以前は毎週訪問することが出来ていた為、収束し以前のような状況に戻ることを願っている。 ・コロナ感染の影響により面会制限等の対応を行っているが、リモートの導入などで、対応されている事が伺える。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	生活への意向と把握は行えているも、コロナ禍による制限もある為、外出等の希望に沿った支援を行えていない。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人、ご家族より意向の確認、モニタリングとアセスメントを活用し、カンファレンスでの意見交換を行い介護計画の立案を行っている。	・都度、意向の確認をし対応して頂いている。 ・「意思決定支援」「ICFの背景因子(環境因子と個人因子)」「適切なケアマネジメントの手引き」の資料も参考にし、進めていくのも良い。	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・意向の確認、モニタリングやアセスメントを共有し協議した上で介護計画の作成に努めることが出来ている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録の記載について内部研修にて指導し、情報共有の重要性を説き、実践で活かすように努めている。		A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・介護記録への記載を通して、職員間で共有と実践に努めており、ほぼ出来ている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他ユニットとの協力体制や訪問歯科、訪問理美容、訪問マッサージなどを活用しながら、各ニーズに対応出来るよう取り組んでいる。	・対応されており、行えている状況が見受けられる。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ③ほとんどできていない	コロナ禍により地域行事への参加等は行えていない。把握する地域資源活用も行えていない。	・コロナ禍の影響により、行事等そのものが中止となっているが、運営推進会議等で地域への発信も行っている事が伺える。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にご本人及びご家族へ訪問診療についての確認と了承を得ている。また希望の受診等についてはご家族に対応して頂いている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時はホーム及び主治医からの情報提供を速やかに行える様連携を取り、関係者との情報交換を密にし、早期退院が出来るよう連携を図っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・迅速な対応、連絡をして頂いているという意見も踏まえ、情報提供や収集、早期退院に向けた働きかけが出来ている。 ・また医師からご家族への説明の機会を持つことも大切である。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に重度化した際の指針、看取り介護指針について説明を行い同意を得ている。また状態変化に応じご家族、本社、担当医、ホームでの話し合いの場を設けるなどの支援を行っている。看取り介護指針に則り支援を行っている。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・看取り介護指針にて説明、同意を得てご家族や医療機関との連携を図り終末期への支援がほぼ出来ている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍において全職員ではないが、救急救命講習を受講している。ユニット間で緊急時の対応を迅速に行う為、情報共有等の連携が出来るような環境作りに努めている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年二回以上の災害訓練の実施を例年行い、災害用備蓄品の用意、発電機の設置、災害時避難手順、避難場所の確保等対策を行っている。また、地域との協力体制の確認も都度行っている。	・マニュアル等にて確認することもでき、対応されている状況が見受けられる。	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・災害時におけるBCP、法人内のマニュアルが整備されており、例年2回以上訓練も行われており災害時に備え、対策がほぼ出来ている。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様への言葉かけに特に注意し、尊敬の念を持って対応するよう努めている。また、一つ一つの対応を、自身に置き換えながら行動するよう努めている。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居者様との関わりにおいて、否定の言葉等に意識した実践がほぼ出来ている。
----	--------------------	---	---	---	--	---	---------------------------------------

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ペースに合わせた、急がないケアを行うようにし、可能な限り自由な選択が行えるよう支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	残存機能を活かし、片付け等の家事支援を行っている。コロナ禍により一緒に食事することは出来なかったが、食事前のテーブル拭きなど、準備を一緒に行う等の支援を行った。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナ禍において入居者様との食事は難しい中、出来る範囲で楽しみが持てるよう支援が十分に出来ている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	6ヶ月に1回口腔・栄養スクリーニングを実施し把握している。食事量や水分量については、都度記録に記載し確認を行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	6ヶ月に1回口腔・栄養スクリーニングを実施し、必要があれば歯科医への相談も行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・6ヶ月に1回の口腔・栄養スクリーニング評価や訪問歯科との連携により口腔状態の維持向上に努めている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表等の活用により、排泄状況の把握を行っている。また便秘予防対策や弊社担当看護師との連携により排便コントロール等を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・個々の排泄パターン、状況を把握することで支援がほぼ出来ている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本時間や曜日を決め対応しているが、ご本人の意思等を確認し個々に添った支援を行うよう努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入眠、起床を強制せず、本人が眠れるときに安心して入眠出来るよう対応し、入眠前に暖かい物を飲んで頂く等、気持ち良く眠れるよう努めている。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ①あまりできていない D. ほとんどできていない	薬剤情報の回覧等によりどのような薬かを把握することが出来ているが、何の為に服用しているのかを正しく理解する必要がある。		A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・薬情や受診記録にて確認し、職員間にて共有することがほぼ出来ている。 ・また、その方の投薬状況におけるご家族への内容説明が大切であり、主治医からご家族へ説明して頂く為の働きかけも重要。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ①あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様の生活歴を把握し、室内で実施出来ることに関しては支援を行っているが、外食や買い物等の戸外での楽しみは支援が出来ていない。	・コロナ禍以前は、家族も参加して誕生会、敬老会等実施されていた為、コロナ収束後においては再開を望む。 ・コロナ禍の影響により外部活動に制限があるが、内外活動等にて対応されている事が見受けられる。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ①ほとんどできていない	コロナ渦により、地域交流や外出する機会がなく、殆ど支援が出来ていない。散歩などの短時間かつ短距離での支援は実施している。	・コロナ禍の影響により外出が制限されている中でも、出来ることの対応がされている。 ・各種行事の様子を、写真や動画で伺っている。良く出来ていると感じる。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ①ほとんどできていない	ホーム内での金銭所持はトラブル防止の為行っておらず、コロナ禍の外出制限もある為、お金を所持し使える支援も行えていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人やご家族からの希望があれば、電話、手紙のやり取りが行える様支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室内では、馴染みの物などを飾ったり、使用したりすることで安心出来る空間作りをし、リビングでは、席替えや模様替えをしながら過ごしやすい空間を作れるよう努めている。		A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・認知症の症状に応じた共用空間の調整を行うことで安全に不快や混乱を招くことがないように十分に配慮が出来ている。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人、ご家族からの意向を確認し、希望に沿ったケアプランの作成、実施を心掛けている。また、必要に応じ、変更等も検討をしている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前に生活歴や習慣等、情報収集を行い入居後においても馴染みの関係、物、信仰や命日等の大切にしている日も含め、これまでしてきたことや続けていきたいこと等が反映出来るようプラン立案を行い、実施している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月2回の訪問診療や週1回の弊社担当看護師による健康管理を行い連携を図り、支援を行っている。またコロナ禍により緊急を要すること以外不要不急の受診を控えており、ご本人が希望した時の受診が行えないことがあった。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・日々の健康チェックや看護師、主治医との連携により対応が出来る。 ・また体調変化時はご家族への連絡が迅速に行われている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事等を習慣にしてきた事など、室内での生活についてはご本人のペースで生活が行えてはいるが、外出や外食といった習慣については、コロナ禍制限により行えていない。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今まで使用していた家具、食器、ご主人の写真等、大切な物や使いやすい物などは継続して所持、使用出来るようにしている。但し、一枚刃のカミソリやライター等の安全性を欠くものはお断りしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・馴染みの持ち物を入居前に確認し、大切な物を身近に置くことがほぼ出来ている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍もあり、近場での散歩以外の外出は行えていない。	・コロナ禍の現状においては、外出や地域との交流等は困難だと思う。その中でも良く努力されていると感じる。		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の能力に合った家事等を積極的に行って頂き、継続する事で役割として認識され、楽しむことも出来るよう努めている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他入居者様との会話を自由に行い、また、スタッフが間に入りながら円滑なコミュニケーションを促す事で、制限はあるものの何気ない日常に変化と刺激が生まれるよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居者様同士の関わりを大切にし、会話等が出来るよう職員が介入しながら工夫することがほぼ出来ている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍という事もあり、地域交流に制限がある為、ほとんど行えていない。	・項目 45 同様、コロナ禍の現状においては、外出や地域との交流は困難だと思う。そんな中でも良く努力されていると感じる。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染拡大によって様々な制限があった中、ご本人の想いや願いを汲み取り、可能な限り実現出来るよう具体的な支援策を検討してきた。中でも外部、特にご家族との面会において、望む形での実現が出来なかった。今後もより制限のある生活を強いられる事態となる際、今回の課題を精査、改善し、より希望に寄り添った対応で実現が出来るように努めていく。	・職員の努力も感じられ、安心して生活をお願いが出来ている為、今後もお願いしたい。 ・あまり出来ていないという自己評価になっているが、この感染禍においては仕方がないことも多くあり、まずはこの状況下において安心出来る日々を支援することが重要な為、ほぼ出来ているという評価で良い。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナ禍が長期化する中で、制限の中ご家族との情報共有、その他医療機関等との連携を図れている為、入居者様は安心した日々を送ることが出来ており、ほぼ出来ていると評価する。